受注企業動向調査結果

－2026.6－

■調査時点　　令和8年9月調査（令和8年9月末時点）

■対象企業　　150社

■調査時期　　4半期毎（3、6、9、12月末時点）

■回答企業　　104社（回答率：　69.33　％）

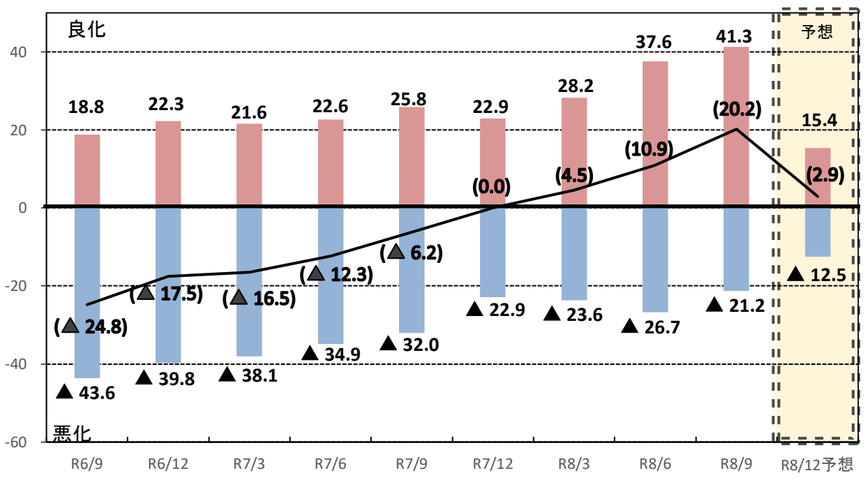
DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

＜業種内訳＞

プラスチック	7 社
鉄鋼・非鉄	7 社
金属製品	23 社
一般機械器具	22 社
電気機器	22 社
輸送用機器	7 社
精密機器	8 社
縫製	8 社
計	104 社

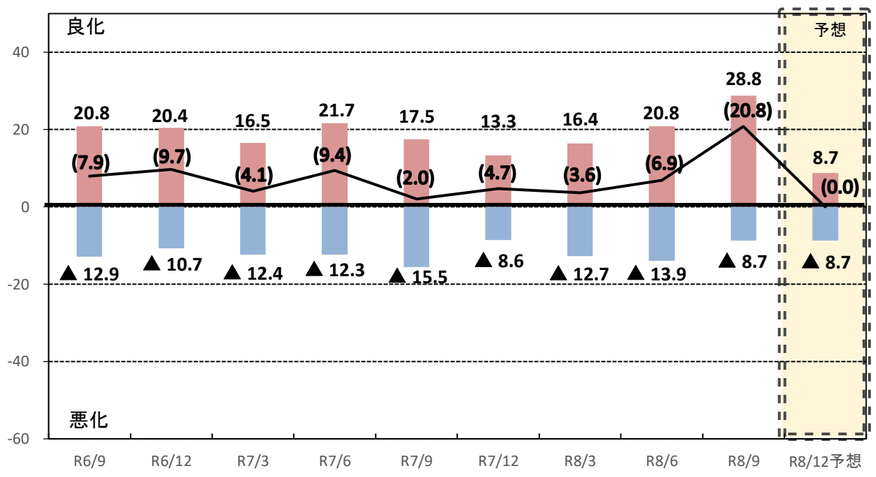
●生産高

前年同月比



●受注単価

前年同月比

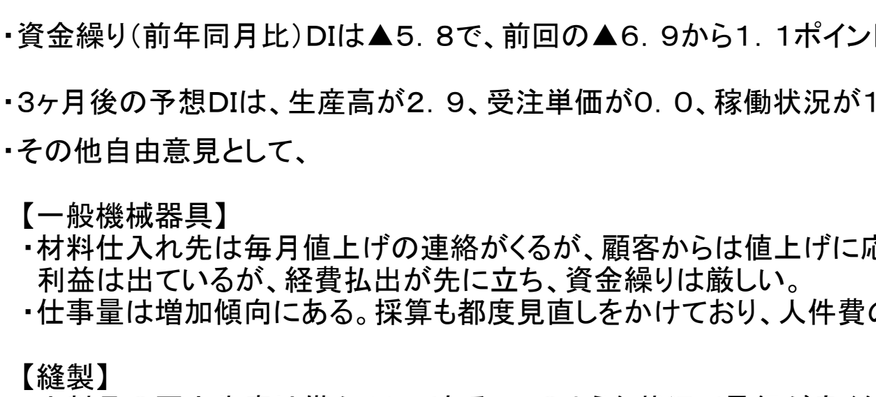


		R6/9	R6/12	R7/3	R7/6	R7/9	R7/12	R8/3	R8/6	R8/9	R8/12予想
生産高	前年同月比	▲ 24.8	▲ 17.5	▲ 16.5	▲ 12.3	▲ 6.2	0.0	4.5	10.9	20.2	2.9
受注単価	前年同月比	7.9	9.7	4.1	9.4	2.0	4.7	3.6	6.9	20.8	0.0

悪化　回答率
良化　回答率
DI値

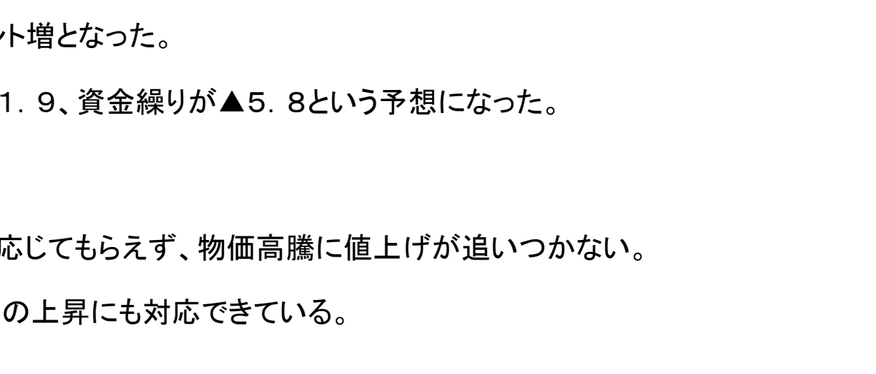
●稼働状況

前年同月比



●資金繰り

前年同月比



		R6/9	R6/12	R7/3	R7/6	R7/9	R7/12	R8/3	R8/6	R8/9	R8/12予想
稼働状況	前年同月比	▲ 21.8	▲ 9.7	▲ 15.5	▲ 14.1	▲ 8.2	▲ 5.7	5.5	4.0	15.4	1.9
資金繰り	前年同月比	▲ 17.8	▲ 21.4	▲ 17.5	▲ 18.9	▲ 13.4	▲ 11.4	▲ 6.4	▲ 6.9	▲ 5.8	▲ 5.8

悪化　回答率
良化　回答率
DI値

●概要（総合）

・生産高（前年同月比）DIは20．2で、前回の10．9から9．3ポイント増となった。

・受注単価（前年同月比）DIは20．8で、前回の6．9から13．9ポイント増となった。

・稼働状況（前年同月比）DIは15．4で、前回の4．0から11．4ポイント増となった。

・資金繰り（前年同月比）DIは▲5．8で、前回の▲6．9から1．1ポイント増となった。

・3ヶ月後の予想DIは、生産高が2．9、受注単価が0．0、稼働状況が1．9、資金繰りが▲5．8という予想になった。

・その他自由意見として、

【一般機械器具】
・材料仕入れ先は毎月値上げの連絡がくるが、顧客からは値上げに応じてもらえず、物価高騰に値上げが追いつかない。
　利益は出ているが、経費払出が先に立ち、資金繰りは厳しい。
・仕事量は増加傾向にある。採算も都度見直しをかけており、人件費の上昇にも対応できている。

【縫製】
・衣料品の国内生産は僅か1％である。このような状況で景気が良くなるはずがない。あらゆる面で改善・改革を進め、雇用を守っていく必要がある。

【電気機器】
・最低賃金の上昇で悪化している。
・政府主導による賃金アップには疑問を感じる。

【輸送用機器】
・売り上げは改善している。人手不足が深刻。取適法の運用が緩いと感じる状況になりつつある。

という意見が寄せられた。